

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2002-128300(P2002-128300A)

【公開日】平成14年5月9日(2002.5.9)

【出願番号】特願2000-328628(P2000-328628)

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 3/48

【F I】

B 6 5 H 3/48 3 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月7日(2005.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

請求項1記載のシート供給装置において、

速度可変手段は、エア流路の移動方向として上から下へ移動する場合のエア流路の移動速度を下から上へ移動する場合のそれよりも遅く設定することを特徴とするシート供給装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

【発明の実施の形態】

以下、添付図面に示す実施の形態に基づいて本発明を詳細に説明する。

実施の形態1

図2は本発明が適用されたシート供給装置の実施の形態1を組み込んだ画像形成装置の概略構成を示す正面説明図である。

同図において、画像形成装置10は、画像読取装置11やパーソナルコンピュータ等の外部機器12と通信回線13によって接続される受信部14を有し、この受信部14からの画像情報を画像記録制御部15に取り込み、前記画像情報に基づいて後述する画像書き込み装置22を制御するようになっている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

また、シートの厚みモードについては、流路移動板61に対し以下のような速度パターンにすることも可能である。

すなわち、エアによって薄シートは容易に浮揚するが、束浮揚し易い。一方、厚シートはなかなか浮揚しないが、一旦浮揚すると、束浮揚は薄シートよりはしづらい。

そこで、図11(a)に示すように、薄シートは浮揚したシート群への吹き付け時間を

長くするように、流路移動板61の移動速度を、流路移動板61が最も高くなった位置（吹出口上端位置A：エア流路62が閉じた状態）から最上シート位置Bまでの区間の方を、最上シート位置Bから流路移動板61が最も低くなった位置（吹出口下端位置C：エア流路62が開いた状態）までの区間より遅くする。

それとは逆に、厚シートでは、図11(b)に示すように、流路移動板61の移動速度を、流路移動板61が最も高くなった位置(吹出口上端位置A:エア流路62が閉じた状態)から最上シート位置Bまでの区間の方より、最上シート位置Bから流路移動板61が最も低くなった位置(吹出口下端位置C:エア流路62が開いた状態)までの区間の方を遅くすることで、厚シートを浮揚しやすくさせようとしたものである。

## 【手続補正4】

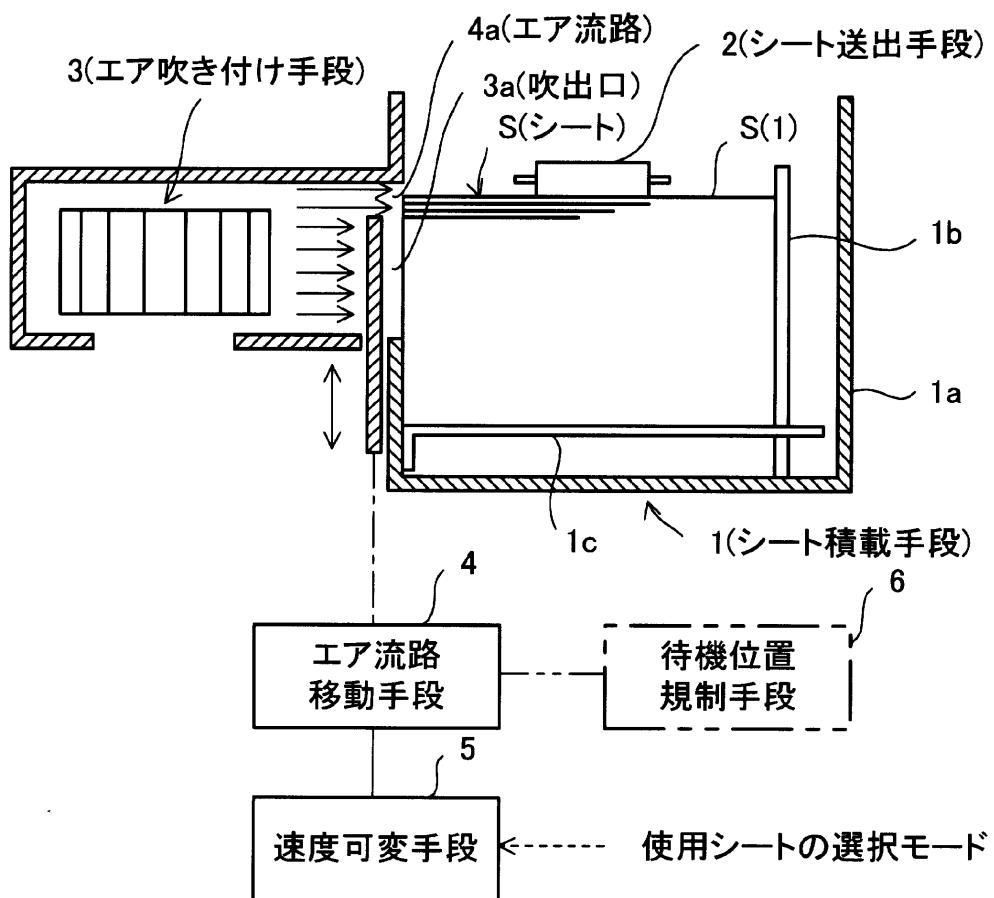
### 【補正対象書類名】図面

### 【補正対象項目名】図 1

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 図 1 】



## 【手続補正5】

### 【補正対象書類名】図面

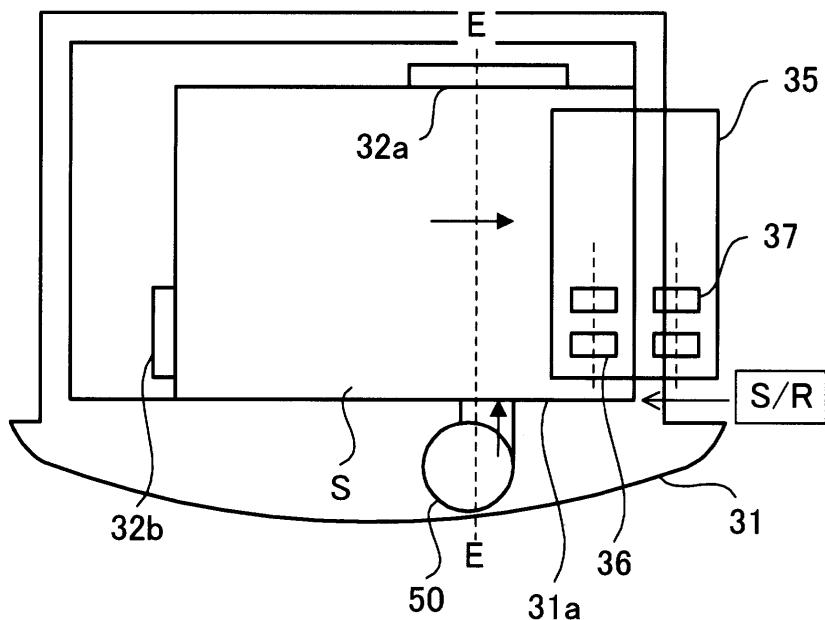
### 【補正対象項目名】図 3

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【図3】

(a)



(b)

